**日　時**令和７年３月27日（木）午後２時から午後４時

**場　所**須賀川市役所 ４階大会議室Ｃ・Ｄ

**出席者**委員９名、地域包括支援センター４名、事務局９名

**１　辞令交付及び市長あいさつ**

**２　開会**

**３　出欠状況**

**４　会長並びに副会長選出**

**５　会長あいさつ**

**６　議事**

**（１）介護保険事業等の進捗及び今後の取り組みについて**

**（２）地域密着型サービス事業所の状況について**

＜質疑応答＞

委　員：高齢者の人口が増加しているが、地域包括支援センター職員はその地域に対して適正

な人数を配置できているのか。また適正な人数の根拠はあるのか。

事務局：本市の生活圏域は９つあり、国で定めている基準の人数を配置しているが、各生活圏

域に地域包括支援センターが配置されるのが理想である。次年度にかけて検討してい

きたい。第９期介護保険事業計画87ページに地域包括支援センターの機能強化につ

いての記載があるのでご覧いただきたい。

委　員：看護小規模多機能型居宅介護について、おおよそいつまでに整備予定か。

事務局：令和８年度までの整備を目標としている。

委　員：エンディングノートは、何部作成したのか。

事務局：1,000部作成しており、ホームページにも掲載している。

委　員：社協で法律相談をしており、相続問題に活用できそうだと思った。とても良い取り組

みだと思う。

委　員：デイサービスや訪問介護などの利用が少なく、稼働率が低くなっていると感じる。

施設利用の志向が強くなっているのではないか。介護が必要な状態になっても、在宅

サービスを利用し在宅で見続けられるよう共に取り組んでいただきたい。

委　員：決して本人が施設志向になっているのではないと思う。

委　員：看護小規模多機能型居宅介護の市外事業所数はどれくらいか。また地域包括支援セン

ターの機能強化の実施はいつごろか。

事務局：地域包括支援センターの機能強化実施時期については、予算の兼ね合いもあるため、

今後検討したい。

委　員：資格を保有する人材の確保の必要性もあるので、長期的な視点で地域包括支援センタ

ーの整備を進めていただきたい。

事務局：看護小規模多機能型居宅介護の市外事業所数は把握していないため、別途調べて回答

したい。

→後日回答：福島市５事業所、郡山市１事業所、いわき市５事業所、会津若松市４事

業所

**（３）地域包括支援センターの運営について**

＜質疑応答＞

委　員：長沼・岩瀬地域包括支援センターで作成している繋がりマップの具体的な事例はある

か。

包　括：地域のつながりがたくさんある90歳の方の認知症の相談があり訪問した。病院や買

い物など、それぞれの場所に連れて行ってくれる友達が違っており、それぞれに仲間

がいることが分かった。認知症ではあるが、地域の繋がりの中において一人で生活が

できているため、今回は介護保険認定申請をせず、地域の方の力を借りながら様子を

見ていくとするケースがあった。

委　員：地域包括支援センターは健康面から支えており、健康面を支えるために何をしている

のか、健康をどう増進しているのかという取り組みが、社会福祉協議会とは違うとい

う資料作りをした方がよい。通いの場や体操の指導などをよりアピールしたほうがよ

い。

委　員：370名の認知症キッズサポーターを養成したのはとても素晴らしい。子供が高齢者に

話しかけるとADLの低下が鈍化するため、介護予防に繋がる。この取り組みを今後も

続けてほしい。

委　員：子供が行方不明の高齢者を見つける事例もある。子供たちも帰属意識が高まり、人口

減少を止めることにも繋がると思う。子供にも良い影響があるため、それを伝えなが

ら進めていってほしい。

委　員：市内小中学校や議員から、認知症サポーター養成講座を広げていけばよいのではない

か。

事務局：一部の小学校では以前から継続している。今後は教育委員会を通して周知を図ってい

き、開催を促していきたいと思う。

委　員：370名のサポーターが誕生したということを伝えれば効果が伝わると思う。

**（４）その他**

＜質疑応答＞

委　員：保険者機能強化推進交付金等について、須賀川市の県内得点順位が11位となってい

る。これは計画的に進められるものなのか、取り組んだ結果として出てしまうものな

のか。

委　員：住民のニーズを調べながら、市民のなりたい姿をベースとして須賀川市が進んでいく

ので、もう少し見守ってほしい。国の制度に従うものではなく、市民がどうしていき

たいか、どう暮らしていきたいかを市民に聞きながら進めていく先進市になってほ

しい。

**７　閉会**

　以　　上